



緊急速報メールによる『気象等及び噴火に関する特別警報』の配信

現在、気象庁が発表する『緊急地震速報』と『津波警報』は、携帯電話業者（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク）を介して、スマートフォンを含む携帯電話を利用しての方に緊急速報メールとして配信しています。

平成27年11月19日からは『気象等及び噴火に関する特別警報』についても緊急速報メールで配信されるようになりました。緊急速報メールを受信した際には迅速な行動をとれるよう、日頃から備えておきましょう。

○**警報とは**
気象等により重大な災害が起こる恐れがある場合に発表される情報です。

○**特別警報とは**
警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波などが予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に発表される情報です。

○**緊急速報メールの内容**
・緊急地震速報、大津波警報、津波警報

平成27年11月19日から新たに配信を開始した特別警報

- ・**気象等について** 大雨特別警報、暴風特別警報、波浪特別警報、高潮特別警報、大雪特別警報、暴風雪特別警報
- ・**噴火について** 噴火に関する特別警報（噴火警報）

特別警報が出た場合、周囲の状況や市から発表される避難勧告などの情報に留意し、ただちに命を守る行動をとりましょう。

※詳しくは、気象庁ホームページ（<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>）をご覧ください。

▼**問い合わせ**
室蘭地方気象台
(☎)4249

仲間たち

Group

押し花パンジー



自然の恵みを使って作品を作ることがとても楽しい

『押し花パンジー』は、平成15年に発足しました。現在、会員は60代から80代までの女性13人。毎月2回、金曜日の9時から12時まで市民会館で活動し、押し花を使って、はがきや本のしおり、ランチョンマット、カレンダーなど、さまざまな作品を作っています。

「市民会館で押し花を使った年賀状作りの体験会があり、そこに参加した人たちが押し花の楽しさを知って、サークルを立ち上げました」と、発足のきっかけを話してくれたのは、代表の高橋久美子さん。



▲鮮やかな草花を使って作品を作るメンバー

押し花は、いつかは枯れてしまふ花を永久的に楽しむことができます。最近では技術の進歩により草花のほかに果物や野菜も押し花にできるそうです。

「押し花にしたとききれいな色が出ると、とてもうれしいものです。メンバーは互いにアドバイスをしながら、和気あいあいと作品づくりに励んでいますね」と高橋さんは話します。

約10年前、友人に誘われて同サークルに入会した田口圭子さんは、「お花は、気持ちを安らかにしてくれます。自宅で育てた花を押し花にすると、さらに愛着がわきますね。台紙に花びらを置いて、だんだんと作品が出来上がっていく時間がとても楽しいです」と押し花の魅力を話してくれました。

活動に関する問い合わせは、高橋さん（☎）7003）まで。